

アフターサービスについて

修理を依頼されるには、お買い上げの販売店又は弊社に、故障状況を詳しくご連絡の上お申し付けください。

●製品の保証について

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
詳しくは、保証書をご覧ください。

仕様

本体(残量計付 減圧弁) 製造販売届出番号13B3X00158000003	
構造	ガスカートリッジ取付部形状：5/8-18UNF (専用酸素ガスカートリッジに対応) 出口接続部形状：付属マスク・カニューラに対応
流量	2L/min ±20%
圧力	約0.3MPa
安全装置	一次側：可溶栓型安全弁 二次側：復帰型安全弁 0.9MPa迄に作動
使用温度範囲	0～40℃
残量計	F(満)～E(空)
外形寸法	φ36×60D×95H
質量	約190g

●参考

専用酸素ガスカートリッジ (日本薬局方) 高圧ガス保安協会認定品	
充填圧力	19.2MPa
内容積	98mL
ガス量	22.5g (約17L ※20℃時)
ガス純度	99.5%以上
安全装置	安全封板 (低流量放出型破裂板)

●使用時

外形寸法	使用状態：80W×100D×236H
質量	約430g

●活気ゲンホームページ <http://www.keitaisanso-ntg.com/kakkigen>

※交換用の専用酸素カートリッジは、お買い上げの薬局でご購入ください。

製造販売元

NTG
日本炭酸瓦斯株式会社

〒120-0012 東京都足立区青井3-12-15
問合せ先 TEL.03-3849-1573(国内営業部)
<http://www.ntg.co.jp/>

24-E

NTG

製造販売届出番号 13B3X00158000003
一般医療機器 特定保守管理医療機器



取扱説明書

■ ご使用の前に

このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品は医療機器です。ご使用の際は、医師にご相談ください。

- 本製品は正しい使い方をしないと事故につながる場合がありますので、この取扱説明書を必ずよくお読みください。
- この取扱説明書は保証書とともに大切に保管してください。
- 専用の酸素ガスカートリッジ (日本薬局方) 以外は、絶対に使用しないでください。
- 本製品は国内専用です。
- 予め所定の手続きを行えば航空機内持込が可能になる場合があります。事前にご利用される航空会社にお問合せください。

標準セット品

- | | | | |
|---------------|-------|---------------|-------|
| ・本体 (残量計付減圧弁) | ： 1 台 | ・専用酸素ガスカートリッジ | ： 2 本 |
| ・マスク | ： 2 個 | (日本薬局方) | |
| ・カニューラ | ： 1 個 | ・取扱説明書 | |
| ・スタンド | ： 1 個 | ・保証書 | |

安全上の注意

- この製品は医療機器です。ご使用の際は、医師にご相談ください。
- 使用の前に、この「安全上の注意」をよく読み、正しくお使いください。
- お読みになった後も、いつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書には、使用者が製品を安全に使われるために理解しやすいいろいろな絵表示を使用しています。誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。

⚠ 警告： 取り扱いを誤った場合、人が死亡又は、重症を負う危険が生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 注意： 取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり、物的損傷が発生したりする恐れがある内容を示しています。

絵表示の例



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



⚠ 記号は、使用者の行為を指示強制する内容であることを告げるものです。

⚠ 警告

⚠	本製品は医療機器です。ご使用の際は、医師にご相談ください。 正しい使い方をしないと事故につながる場合があります。
⊘	本製品は酸素吸入器です。他の目的には使用しないでください。 高圧ガスを使用しています。破損・ケガの恐れがあります。
⊘	酸素ガスは可燃性ですので、可燃物や火気に向かってのガスの放出は絶対にしないでください。 引火爆発、発火の危険があります。
⚠	必ず当社製専用酸素ガスカートリッジ（日本薬局方）を使用してください。 指定以外のガスカートリッジを使用すると、破損・ケガの恐れがあります。発火の原因となります。
⊘	ガスカートリッジ及び本体に油脂類は絶対に付けしないでください。 高圧酸素を使用していますので発火の原因となります。
⚠	使用・保管は火の近くや直射日光を避け、0～40℃の間で行ってください。 高圧ガスを使用しています。破損・ケガの恐れがあります。引火爆発、発火の危険があります。
⚠	火気の近くでの使用や保管は絶対にしないでください。 高圧ガスを使用しています。破損・ケガの恐れがあります。引火爆発、発火の危険があります。
⊘	分解や改造は絶対にしないでください。 各部品は高圧仕様のため、精密に調整していますので絶対に分解しないでください。破損・ケガの恐れがあります。

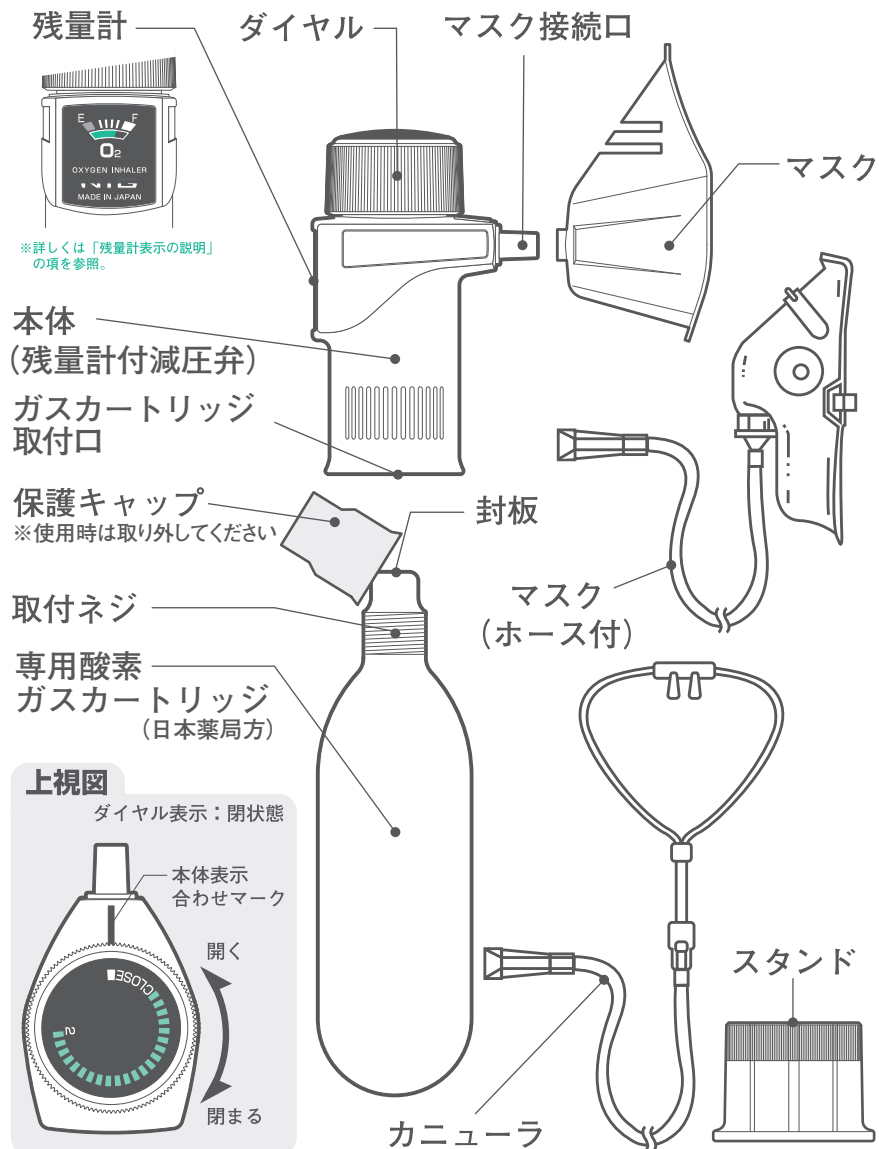
⚠ 警告

⊘	落したり、ぶつけたりしないでください。 破損・ケガの恐れがあります。
⚠	ガスカートリッジを取り付ける時に、ガスが少量漏れてもいっきにねじ込んでください。 ゆるめたりそのままにしますと、ガスが噴出しケガ・故障の恐れがあります。
⊘	ガスカートリッジはガスが完全に無くなるまで、本体から絶対に外さないでください。 本体のダイヤルを全開（反時計回りに停止する位置まで）にし、ガスが出ないことを確認してから外してください。 ケガの恐れやパッキン損傷などで再使用できない等の恐れがあります。
⊘	加熱したり、火の中に投じしないでください。 高圧ガスを使用しています。破損・ケガの恐れがあります。引火爆発、発火の危険があります。
⚠	使用済みのガスカートリッジは、封板（蓋）に穴が開いていることを確認してから、各自治体の指示にしたがって処理してください。（材質：スチール） 中身の入ったガスカートリッジを焼却等の処理をすると、破裂（発火）の恐れがあります。
⊘	ガスカートリッジの取り付け、取り外しには工具を用いしないでください。 故障の原因となります。
⚠	ガスカートリッジを取り付ける（ねじ込み）時、封板やねじ部にゴミ、油脂類の付着等異常の無いことを確認してください。 ガス漏れや発火の原因となります。
⊘	清掃時に揮発性溶剤（アルコール、シンナー等）は使用しないでください。 水または、水で薄めた中性洗剤で拭いてください。 高圧酸素を使用していますので発火の原因となります。
⚠	本体をぬらしたり、水没させしないでください。 内部の金属部分が腐食し破損する原因となります。
⚠	使用前にダイヤルを全開（反時計回りに停止する位置まで）にしてガスが出ることを確認してください ガスが吐出せず吸入できなくなります。
⚠	カートリッジを取り付けた後、ガスはすぐに使い切ってください。 保管中ガス漏れが発生すると、ガスが吐出せず吸入できなくなります。

⚠ 注意

⚠	ガスカートリッジの取り付け、取り外し時は必ず本体のダイヤルを「CLOSE□」の位置で行ってください。 故障や、ガス漏れの原因となります。
⚠	ガスカートリッジに表示の注意事項も併せて厳守してください。
⚠	子供の手の届かないところに保管してください。 子供が使用する場合は、必ず保護者の指導のもとで行ってください。
⊘	マスク接続口に、口を直接つけて吸入しないでください。 ノズルが詰まり、故障の原因となります。

各部名称



使用方法

ガスカートリッジの取り付け方

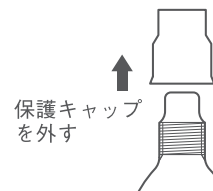
警告

- 必ず当社製専用酸素ガスカートリッジ(日本薬局方)を使用してください。
- ガスカートリッジ及び本体に油脂類は絶対に付けしないでください。
- ガスカートリッジを取り付ける時に、ガスが少量漏れてもいっしょにねじ込んでください。
- ガスカートリッジの取り付け、取り外しには工具を用いしないでください。
- ガスカートリッジを取り付ける(ねじ込み)時、封板やねじ部にゴミ、油脂類の付着等異常の無いことを確認してください。

① 当社製本体及び酸素ガスカートリッジ(日本薬局方)であることを確認します。

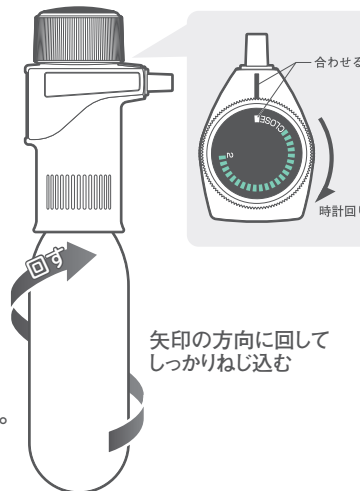
② 本体のダイヤルをCLOSEの位置にします。
ダイヤル表示の「CLOSE」印を本体表示
合せマークの「■」印の位置に合わせます。
(時計回り)

③ ガスカートリッジの
ネジの保護キャップ
を外します。



④ この状態で、ガスカートリッジを本体のガス
カートリッジ取付口に力を入れて回らなくなる
まで矢印の方向に回してしっかりねじ込みます。

！ ネジ部にシールテープやパッキンを絶対
使用しないでください。



残量計表示の説明

- 残量計はガス残量の目安を表示します。満タンの場合残量ゲージがFまで表示され、ガスを
使用すると残量ゲージが減り黒ゾーンがEまで拡がります。

満タンの場合

残量ゲージ
Fまで表示される



空の場合

残量ゲージ
黒ゾーンがEまで拡がる



※環境条件、残量計誤差により多少ずれることがあります。

使用方法

使い方



警告

酸素ガスは可燃性ですので、可燃物や火気に向かってのガスの放出は絶対にしないでください。

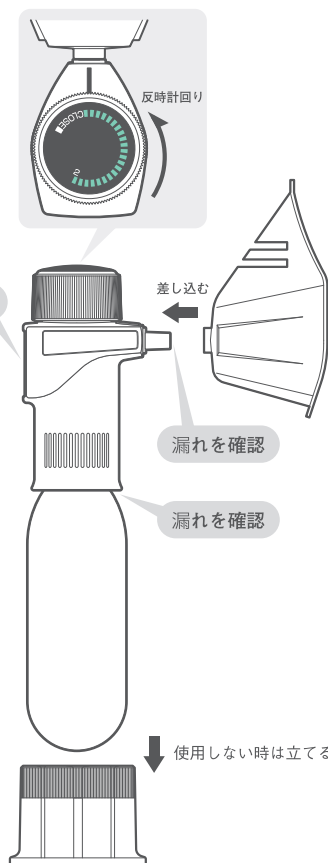


注意

子供の手の届かないところに保管してください。
子供が使用する場合は、必ず保護者の指導のもとで行ってください。

- 1 ガスカートリッジを取り付けたら、残量計にてガスのあることを確認して、ガスカートリッジ取付口とマスク接続口からガスが漏れていないか確認します。
(音がしていないかを確認してください。)
- 2 本体のマスク接続口にマスク又はカニューラを差し込みます。
- 3 ダイアルを回せば(反時計回り)ガスが“シュー”という音と共に出ます。
- 4 流量(ガスの出かた)はダイヤルで調整できます。
ダイヤルを最大に回した時(反時計回り)の位置での流量は、毎分約2リットル(2L/min)です。(カートリッジ1本で連続使用可能時間は約8分です)
- 5 マスクを口鼻に又はカニューラを鼻に当てて、呼吸します。
吸気するとき酸素が肺に導かれます。
呼吸は大きく深く、ゆっくりと行ってください。

使用しないときはダイヤルを時計回りに回し「CLOSE□」の位置に戻してください。



ガスカートリッジの交換の仕方



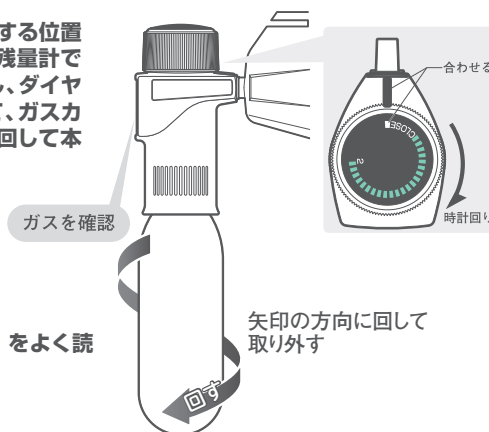
警告

- 火気の近くでの使用や保管は絶対にしないでください。
- 使用済みのガスカートリッジは、封板(蓋)に穴が開いていることを確認してから、各自治体の指示にしたがって処理してください。(材質:スチール)
- ガスカートリッジを取り付ける(ねじ込み)時、封板やねじ部にゴミ、油脂類の付着等異常の無いことを確認してください。

- 1 ダイアルを全開(反時計回りに停止する位置まで)にしてもガスが出ない時は、残量計でガスがなくなっていることを確認し、ダイヤルを「CLOSE□」の位置に戻して、ガスカートリッジを矢印の方向にゆっくり回して本体より取り外します。

外し始めに“シュッ”という音がすることがあります。

- 2 ガスカートリッジの取り付け方は、「ガスカートリッジの取り付け方」をよく読み交換してください。



故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめおたしかめください。

こんなとき	ここをおたしかめください	対処方法
ガスがでない	ガスカートリッジがしっかりねじ込まれていますか？	ガスカートリッジを手で強くねじ込む。
	空のガスカートリッジを取り付けていませんか？	ダイヤルを全開(反時計回りに停止する位置まで)にしてガスがないことを確認する。 ガスがなければ新しいガスカートリッジと交換する。
	ダイヤルが「CLOSE□」の位置になっていませんか？	ダイヤルを反時計回りに回す。
ガスが漏れる	ガスカートリッジが完全にねじ込まれていますか？	手で力を入れてしっかりねじ込む。 それでも漏れていたら、ガスが完全になくなってからガスカートリッジを取り外し、取付部にゴミがあれば除去する。
	ネジ部に異物・ゴミ等が付着していませんか？	